



公有物少女 3.5

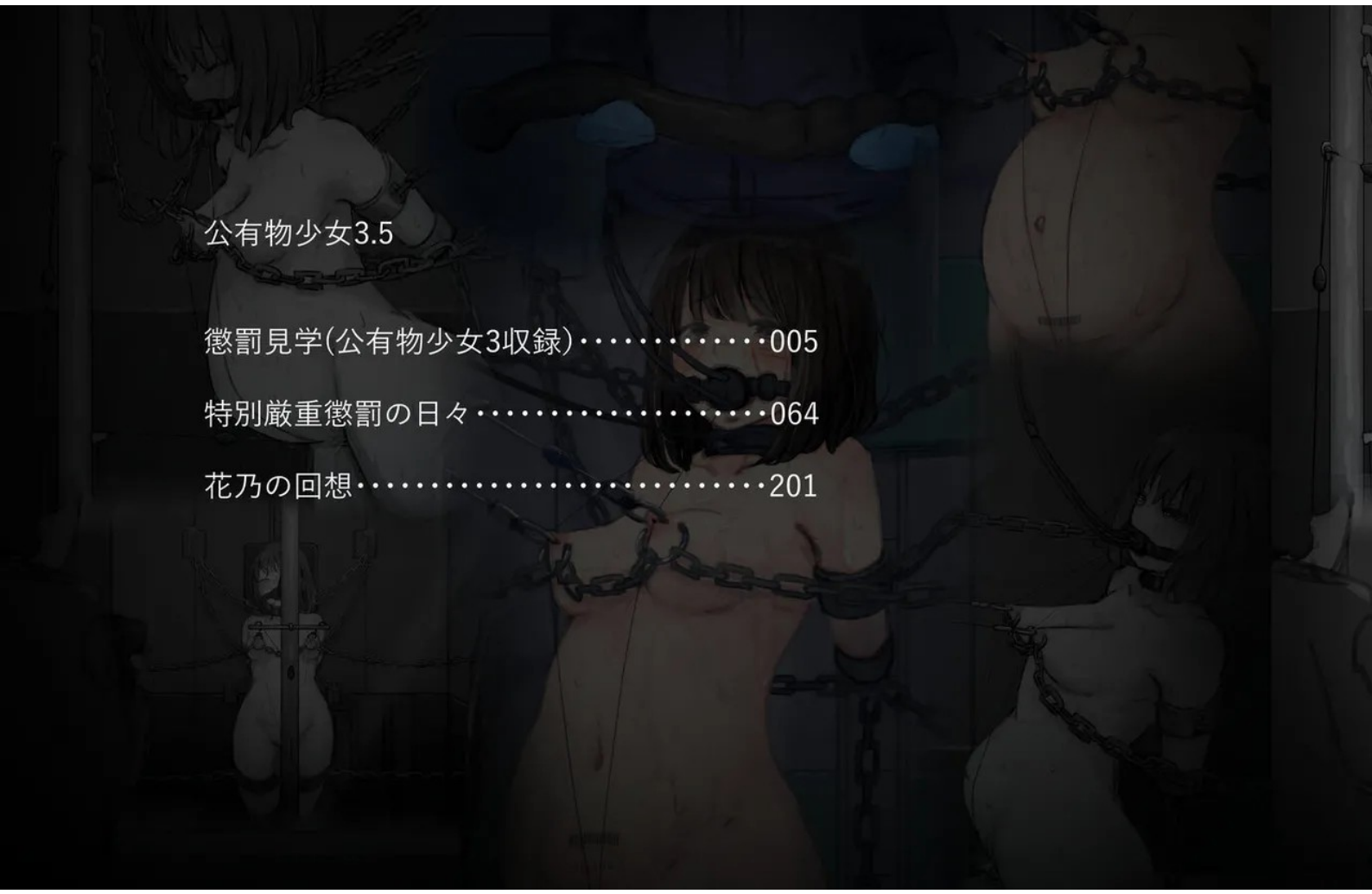
特別嚴重懲罰番外編

～国から人権を剥奪され
物として扱われる女の子の話～

ゆきむら丸

転載禁止 DO NOT REPOST
禁止转载

成人向け
R18
ADULT ONLY
18歳未満
購入・閲覧禁止



公有物少女3.5

懲罰見学(公有物少女3収録).....005

特別嚴重懲罰の日々.....064

花乃の回想.....201

L199について

10月、少女Aと少女Bは二人で下校中、〇〇社視察中の要人指定人物(要人C)が乗車する車に衝突。

少女Bは重症、要人Cは軽傷を負った。

少女Aは事故後、少女Bへの呼びかけを続けていたが、少女Aのカバンには、包丁2本、モデルガン、ハンマー、ドライバー、カッター、はさみ、ガムテープ、など一部凶器が確認されたため警護員が確認を行うと、少女Aは警護員を振り払い、要人Cに近づいたため、安全のため制止。

その後少女Aは突然暴れだしたため制圧を行う。

警察は要人が襲われたことを重く見てテロの疑いで捜査を開始。

少女Aは当初事故の経緯については、友達と下校中にたまたまよろけて友達にぶつかり車道に出てしまった友達が車に衝突し、カバンの中の凶器については、文化祭で貸していたものを持ち帰っていただけ、と供述していたが、その後、暗殺未遂を認めたため少女Aは暴行と要人暗殺未遂で逮捕となる。

被害者の要人Cとの関係については、偉そうでイライラしたと供述をしている。

被害者側からの要望でテロ対策凶悪犯として扱われることになり、特殊拘束具などの使用許可が出される。

反抗の意思があると判断した場合は戒具が追加できるようになり、容疑者が面会を行う場合も制限がつくようになる対策が取られる。

少女Aは司法取引に応じ、略式裁判を経て、2年6か月の公有物活動命令が出される。

11月末、身柄を公有物管理局調教センターへと移し、12月期の公有物として徴収され、少女Aは公有物管理番号11L199として公有物に従事することになり(以降L199と呼称する)公有物予備調教が開始される。

L199は精神的付加耐性や、身体の柔軟性が初期時点でA評価とされ、部活動での経験が作用していると判断される。

反面、性に関しての知識や経験は乏しく、性に関して嫌悪感を見せる等過去に性的なトラブルがあった人特有の反応があり(処女膜は確認されている。)総合評価はCとされている。

身体開発に重点を置いての調教が行われ、一度嫌悪感がなくなれば、そこからは順調に調教が進み、身体の柔軟性を活かし様々な体位で行う奉仕は高く評価される。

1月末に予備調教修了試験に合格し正式に公有物となる。

2月から公有物として正式配置が行われ運用が開始される。

初めての利用者は要人Cで行いたいとの内々の意向を受け2月2日に正式利用開始となる。

2月2日、20時、管理局運営の公有物施設にて、要人CへのL199の奉仕が開始。

奉仕中の詳細は閲覧不可。

奉仕中に要人Cが軽口を言ったところ、L199が感情を抑えきれずに要人Cに暴行。

要人Cは身の危険を感じたため押さえつけようとしたものの、L199は近くにあった灰皿で要人Cをさらに暴行。

要人Cは頭を殴られ重傷を負う。

20時～21時頃、敷地内で火災が発生。

その対応で警備が手薄になった隙を狙い、何者かの手引きにより反政府組織数名が施設内に侵入し、公有物の連れ去りを行う。

施設内には反政府組織と繋がりががあると見られる公有物(L206)が、L199と同様2月1日付で配置されており、L206は他の公有物を唆し共に逃亡を行う。

L199も同じく逃亡を図り、施設を完全に出たところで機動隊が到着し、L206以外の逃亡公有物は確保される。

反政府組織メンバーも3名逮捕されるが、そのうち2名が自殺、1名も自殺未遂を図り意識不明となる。

L206と組織メンバー数名は包囲網をかいくぐり逃亡。

公有物の規定では施設から完全に出ていると逃亡罪。

片足など一部が外に出ている場合や、逃亡未遂よりも重いと判断される場合は準逃亡罪。施設から出ていない場合は逃亡未遂罪。

とそれぞれ定められており、今回の事案では逃亡を図った合計11体の公有物うち、2体が逃亡罪、2体が準逃亡罪、7体が逃亡未遂罪、となり重大違反として処分が行われることになる。

L199は施設の敷地境界から50センチ程度しか離れていなかったが、敷地の外に完全に出ていたため、L206と共に最も重い逃亡罪に該当することになるが、L206は逃亡中だったため、L199が唯一の逃亡罪で確保された公有物となりL199のみが逃亡罪として処分されることになる。

準逃亡罪の2体はL199よりやや後方におり、片足が外に出ていると判断され、その他の檻や奉仕部屋から出たものは逃亡未遂罪となった。

L199は他にも利用者(要人C)に対しての暴行及び殺人未遂も行っているため、こちらも重大な違反となる。

公有物は自身の生命が脅かされる場合を除き利用者への抵抗は禁じられており、もし抵抗を行う場合も必要最小限度と定められている。

反政府組織による逃亡計画はL206が主犯であると判断されたが、L199はL206と同期の同じ組で同じ調教師から予備調教を受け、同じ配置先でもあり接点が多く、逃亡前には利用者への暴行も行っていることからL206と共謀、または計画を知っていたとみられ、身柄はその日のうちに調教センターへと移され、取り調べが行われる。

逃亡計画についてや、L206の潜伏先について、反政府組織との繋がりや、内通者などについては、知らないと言割らず、暴行については2回目の被害者となる要人Cの証言とも食い違う部分が多く、供述には信憑性がないと判断され、継続して取り調べが行われる。

取り調べを重ねるうちに、すべて私がやった事であると犯行を認めるも逃亡計画についての情報を得ることはできなかった。

公有物管理委員会からは早めに処分を行うよう通達があり、2月4日、懲罰委員会が懲罰の検討に入る。

取り調べ中もしらないわからないと協力的な姿勢を見せず、反省の色が見られないとして懲罰の中でも最も重い永久特別嚴重拘束、または無期特別嚴重拘束、レベル2での特別嚴重拘束が妥当であるとの見解が示される。

2月6日、L199の親族及び友人(少女B)による助命嘆願が行われ、要人Cとの和解が成立する。

管理局内部からも逃亡計画に関してはL199は無関係で、要人Cとの関係も含め慎重に捜査するべきではないかと、処分を急ぐ上層部への疑問の声が上がったものの、政府中枢からの指示により、全ての重大違反はL199が行ったものとされ、最終処分の調整に入る。


2月8日、懲罰委員会は特別嚴重懲罰レベル1での収容を決定する。

逃亡、暴行は重大違反であるとしながらも、要人Cとは和解していること、L199の姉、L199の友人がそれぞれL199の重大違反の罪を一部肩代わりする契約を行ったことなどで減罰が認められる。

2月9日、調教センター医療施設にて特別嚴重懲罰レベル1での収監を行うための、四肢切断処置が行われる。

2月10日からリハビリが開始され、15日からは特別嚴重懲罰に向けた簡単な調教メニューを行うなど、術後は想定よりも早く回復したため、前倒しで懲罰が開始されることになる。17日に医師の最終チェックが行われ、一部器具には制限がかけられるものの懲罰の許可が出される。

2月18日、11L199の特別嚴重懲罰レベル1が開始される。



小野美波
高校1年生、ダンス部。
世話焼きで少し子どもっぽい花乃の
世話をするお姉さんの存在。
花乃をダンス部に誘った。

南雲花乃
高校1年生、ダンス部所属。
中学までは新体操をしていたので身体がかなり柔らかい。
元気で食べることと身体を動かすことが好き。
中学生の時に美波と友達になった。
不運が重なり公有物となり、さらなる悲劇で懲罰を受けることになる。

私には5つ上の姉がいる。
4年前姉はある男に襲われた。
私はその場面を目撃してしまった。

私はどうして間違えたんだろう。

大きく変わったのは…
…そうあの目…


当時は何をされているのかはよくわからなかった。
結局事件は無かったことにされ、
明るかった姉は怯えて過ごすようになった。
父も母も暗くなっていた。

ぱんぱん

ぱんぱん

お姉ちゃん
ねにして…





だから私は、家族を元氣付けたくて
明るく振る舞うようになった。

無邪気で元氣で明るい子。

そういうふうになると周りの印象もよかった。
無理に明るくしようとしたことも中学3年間続けていると

それが普通になってきて、友達もたくさんできた。
姉も少しずつ以前のように戻り、


大学ではイケメンの彼氏ができたと自慢していた。

高校からはダンス部に入って文化祭の

ステージは楽しかった。

これからの青春もっと楽しくなる、
恋もちよっとしてみたいかも…なんて思っていた。

この日々が続いていくと思っていた。



その日は文化祭が終わった次の日。
後片付けが終わって貸していた道具を
カバンに入れて友達と一緒に帰っていた。

今から思えばお祭りのテンションで
はしやぎすぎていたのかもしれない。
それが最悪な結果を引き起こすなんて
考えもしなかった。

ふざけあっている時に友達にぶつかり
友達はよろけて車道に出してしまった。

道はそれほど大きくなく車もそんなこない道。
なのにその時は運悪く黒塗りの車が
スピードを出して走ってきていた。
気付いた時にはもう遅く、次の瞬間友達は
宙を舞っていた。

全てはここから始まった。



急いで友達の元に駆け寄り何度も呼び掛ける。
幸いなことに呼吸はしていた。
早く救急車を呼ばないと。
カバンを取りに戻ろうとした。



カバンには文化祭で使うために貸していた道具が入っていた。あれこのピストル私のじゃないけど…。だれかがいたずらで入れたか、カバンを間違えて入れたか。今はスマホ探さないと…。

カバンを開けてスマホを探していると、スーツを着た人が近づいてきた。

協力してくれるのかな。急がないか、と思ったその時だった。

「おいっ。凶器だ！ ……様を守れ！」

「いやっ、これはちがっ」

今はそんなこと言ってる場合じゃないのに。ぶつかってきたのはそっちなのにまともに対応しようとしなないこの人たちにイライラが少しづつたまっていた。

誰なのあいつ。
ぶつかった黒塗りの車から出てきた人。
どこかで見たことあるような…。
そんなことより急いで助けないと…っ。



友達のもとに帰ろうとしたら
スーツの人に阻まれる。
なんなのこいつら。

ちょっと君
近づくな！

邪魔どいて！

ちょっと
離して！

下がれ！
暴れるなら
逮捕するぞ

友達のところに行きたいだけなのに。
暴れた私は男たちに取り押さえられた。
その後救急車が来て友達は運ばれていった。
私はパトカーに乗せられ警察署に
連れていかれた。

取調室に連れてこられ
大人たちに囲まれる。
友達は無事だろうか。
早く帰りたい。
でも待っていたのは身に覚えのない
罪を自白するという取り調べだった。

暗殺なんて知りません
カバンのもたまたま
持ち帰っていただけで

でも警護と秘書を
怪我させるくらい
暴れたんでしょう？

あれは友達を
助けようと

証拠はそろってんのよ！

共犯者とともにわざと車に
当たり車が止まったところを
カバンの凶器で襲おうとした
要人暗殺及び誘拐未遂

あなたがやったんでしょ！
早く認めなさい！

まあまあ
彼女も混乱している
でしょうから

でもこのままだと
友達がテロを起こした
ということでは
治療が打ち切りに
なるかもしれませんよ

ここにサインする
だけでいいんです

1年くらい公有物として
従事すれば前科も残らない

全てがたまたまなんて
誰も信じませんよ

実際友達と他二人を
怪我させてるのは
事実ですから

わかるでしょう？

数時間行われた取り調べて
私は罪を認めてしまった。
友達をケガさせてしまった
罪悪感と凶器を持っていた事実
私ですべて悪かったのかもしれない。

あの…
服を…。

テロの容疑者に
衣服を与えることは
禁止されている
諦めろ

そんな…

正面を向いて
ちゃんと立て

罪を認めた私は逮捕された。
テロと判断されたため凶悪犯として
扱われることになってしまい
その場で衣服を脱がされ
全身の検査が行われた。
テロ対策のため衣服を着させてもらえず
そのまま手錠をかけられ身体を
隠すこともできないまま
写真撮影が行われその後牢屋に連れていかれた。



さっきまで楽しかったのに
なんでこんなことに...
裸にされて色んな人に見られた...
ひんやりとしたコンクリートで
肌寒く心細い。

づる
づる

夢だ...

これは夢なのかな...

おまじろ...おまじろ...
おまじろ...おまじろ

ざわっ

夢が覚めることはなく
翌日からは犯罪者として取り調べが始まった。
取り調べ中も服は着させてもらえず、
私だけ裸で大人たちに取り囲まれ
身に覚えのないこともやっただけにされていた。



被告人は前に

がう
がう

テロ未遂の私には少しでも抵抗と
みなされるような行動をとると少しづつ
拘束具が追加されていった。
薄汚れた身体にきつく締められる拘束具。
恥ずかしいところからは毛がはみ出していて
余計に恥ずかしい。

ブル
ブル

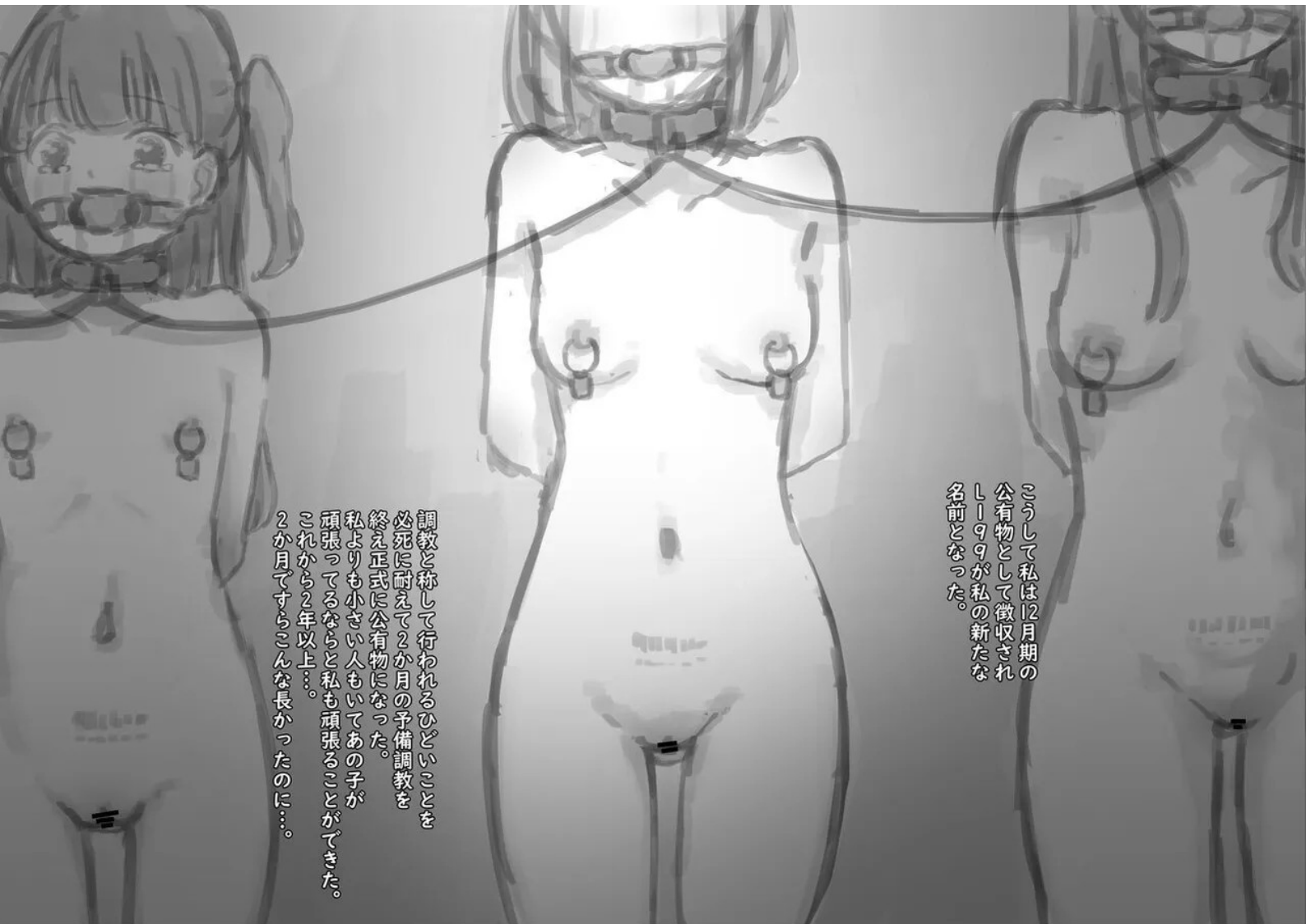
お風呂も入れてもらえず
髪はボサボサで全身はベタベタで
隠したい胸は晒される。
乳首にはワイヤーが通された。
すごい痛かった...
こんなみじめな姿見られたくない...

ほとんど男の人しかいない空間に
ほぼ裸で立たされる。
最低限の配慮なのか
ついたてのようなものが
置かれていた。



被告人には
2年6か月の
公有物奉仕活動を
命じる。

2年半.....



こうして私は12月期の
公有物として徴収され
L199が私の新たな
名前となった。

調教と称して行われるひどいことを
必死に耐えて2か月の予備調教を
終え正式に公有物になった。
私よりも小さい人もいてあの子が
頑張ってるなら私も頑張ることができた。
これから2年以上...。
2か月ですらこんな長かったのに...。

正式に配属され
初めての奉仕。
叩きこまれた挨拶を行い
頭を上げると
そこにはあの男が…。

ビクッ

あ…あなたは…。





よお
元気にしてたか


それにしても
馬鹿な女だよな
姉妹揃ってよ

お前はアレより
胸はねーな

あ？
覚えてねえのか？

お前の姉貴の相手して
してやっただろ


お前あの場にいたんだろ
コソコソしてたよなあ



妹は助けてください
とか言ってたっけな

数時間輪姦まわしただけで
すぐへばりやがってなア

妹に相手してもらおうか
って言ったら
必死になってたぞ



まあ俺の権力で
もみ消したけどな

可哀そうになあ

なんならお前の姉貴
呼んできて
姉妹丼でもするか

今は財閥といえども
もみ消すのは
骨が折れっから
公有物遊びで
我慢してるが

まあいい
じゃあさっそく
奉仕してもらおうか



お前が
アハハハハ

お前が!!

アハハハ



てこぱここ
てこぱここ

いいのかあ？

公有物が
そんなことしてよお!!

わからせないと
いけないよなあ!!

ガッ
ッ

ギョ

うう...

なにこれ...!!

が
ん



が
ん

ん
か
ん

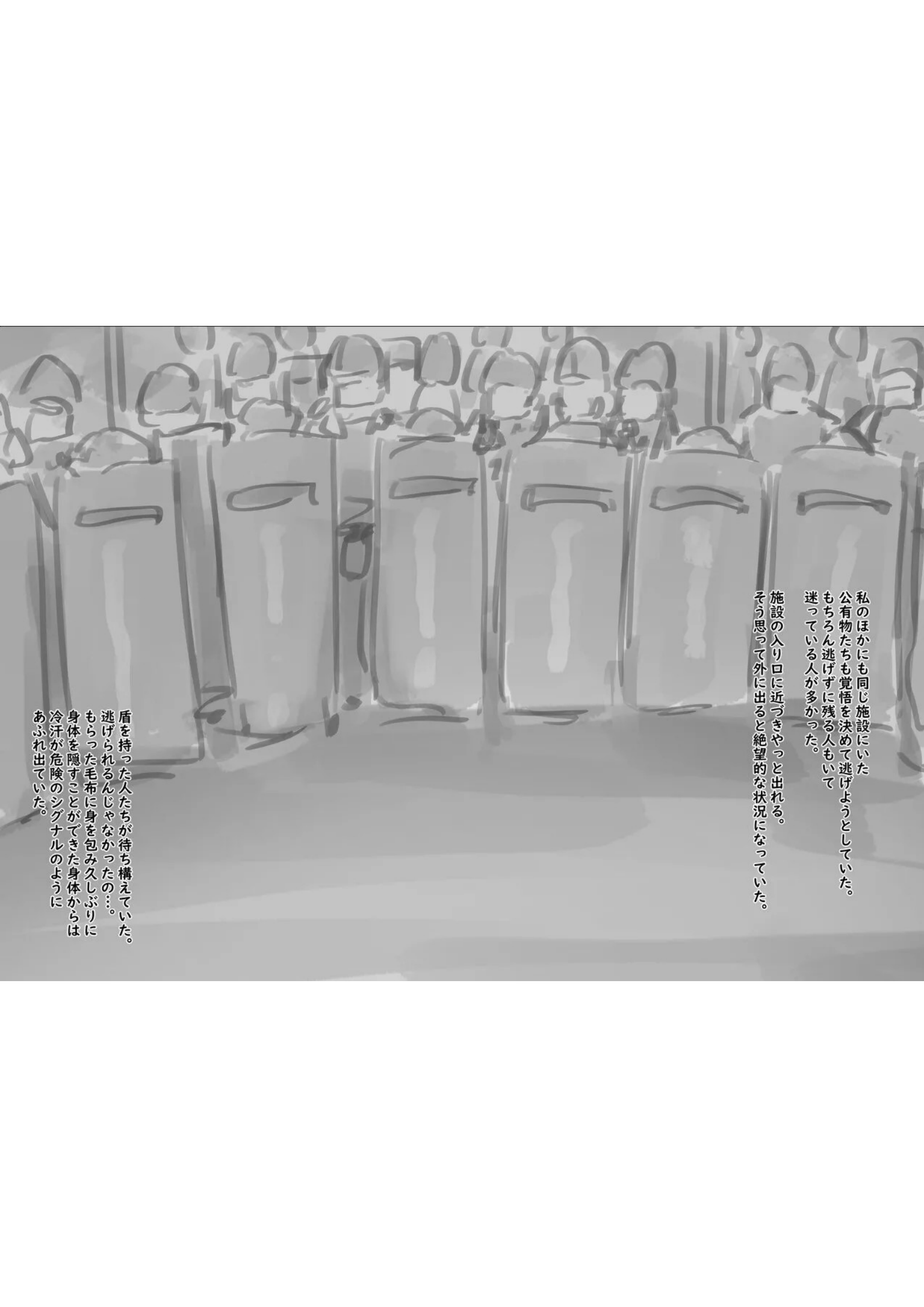
ん
か
ん

突然火災のベルが鳴り部屋に誰かが入ってきた。
ああこれが見つかったらもう終わりだ。
もうだめだと思って振り返ると予備調教中の
同組だった女の人があった。
後ろには怪しい男の人たちが…。

あら…？
あなたやっちゃったわね

公有物解放戦線です
あなたも逃げましょう

ここにも使用者に歯向かい
死なせた場合はどう転んでも懲罰だ。
懲罰は嫌だ…。
逃げるしかない…。
いや…これはチャンスだ。
私にもやっとながきた…！



私のほかにも同じ施設にいた
公有物たちも覚悟を決めて逃げようとしていた。
もちろん逃げずに残る人もいて
迷っている人が多かった。

施設の入り口に近づきやっと思える。
そう思って外に出ると絶望的な状況になっていた。

盾を持った人たちが待ち構えていた。
逃げられるんじゃないの...
もらった毛布に身を包み久しぶりに
身体を隠すことができた身体からは
冷汗が危険のシグナルのように
あふれ出ていた。

逃げようとしたけどあっさり捕まってしまった。
毛布は剥ぎ取られ冬の夜の寒さが体温を奪っていく。
口枷を嵌められ拘束され靴で踏みつけられる。
寒い...痛い.....

ふとなしく
しう!

いりっりに
あつたに
はてさて

しり,

は、
は、

あつ
あつ
あつ



逃げようとした結果捕まり
牢屋に戻された。
暖房はついておらず寒さが
全身にしみてくる。



びりびり
びりびり...
なんび...なんび...んか...は...
...

とんでもないことをしてしまった恐怖と寒さで
全身の震えが止まらない。
私どうなっちゃうの...
寝ることもできないまま震え続けること
数時間後、夜中に職員がやってきて、
私には尋問が行われることになった。
私の地獄が始まった。

仲間の数と配置は？

わたしは
なまじせ...

ビ
キ
ッ

い
な
な
な
な
な

い
な
な
な
な

し...し...ら...ね...
ほ...ん...と...
な...ん...と...
な...ん...と...

はみ

はみ

首謀者は誰だ？
拠点はどこにある

おらっ
早く吐け

ほんとい
しらなによて

ぶがねっ

他にも同様の
計画はあるか

ごめんか...

ハ
エ
ン
ツ
う
ら
う
う

ビ
ビ
ッ

ギョ

よし
おろせ
一分間下げたまま
連続鞭打ちだ

やだ、水やだ、
おろせ、おろせ

はよ
はよ
はよ
はよ
はよ
はよ
はよ
はよ

や...やだ...
なんで...
がら...

なら早く吐け
はあ
一分後に
答えを聞こう

縛られ腫には棒型のデイルドが挿入され
逆さ吊りで拷問が行われた。
意識を失っても冷たい水をかけられる。
無理やりたたき起こされ水責めと鞭打ちが続く。

私は施設を襲った人たちの仲間と
疑われ情報を吐けと眠ることも許されず
不眠不休で何日も拷問され続けた。
わからないと言っても許してくれず
ずっと終わらない……。

最後の方は意識朦朧としてきて
記憶がないけど全て自分がやったので
拷問はやめてくださいと叫んだらしい。

良かったのか悪かったのかあの男は
一命を取り留めたらしい。
彼はあることないこと証言し
私は極悪人に仕立て上げられた。
でももし死んでいたら永久懲罰になっても
おかしくはなかったらしい。

私が彼を殴ったのと同じころ
公有物解放戦線という反政府組織の一つが
施設を襲撃した。
私を逃がしてくれたあの女の人は首謀者の一人で
逃走に成功したらしい。

他にも逃げた公有物はいだが
私と助けてくれた女の人だけが
敷地の外に出てしまったらしい。
たった一歩分しか離れていないのに
少しの違いだけで私には
より重い罪が課された。
さらに私は使用者に暴行を加えるという
殺人未遂の罪も追加される。

私の処分が決まりようやく拷問はおわった。
地獄の時間が終わり私は意識を落とした。

そしてようやく休めると意識を失い
次に目が覚めた時には
手足がなくなっていた。

あおな

うそだ
うそだ……

なんび
手が……
足も……

え……
え……



最初は痛みと息で動かせなかった身体も
数日で元から手足がなかったかのよう
身体はほとんど万全な状態に回復してしま
った。

予備調教中に見学させられた
懲罰を受けている手足のない
女の子を思い出す。
私にもその日が刻一刻と
迫っていた。

一日2回行われる散歩の時間は
2月の極寒の中、朝と夜に
裸のまま車イスに縛り付けられ
外に出される。



そして数日後
ついにその日が来てしまった。
逃げたくても暴れたくても
手足のない身体では
意味をなさない。
静かで寒い廊下を震えながら
地下の地下、いくつもの
重厚な扉を超えて
以前見学した懲罰室に
今度は自分が受ける側として
戻ってきてしまった。



残された足で台座を
挟んでなんとかこれ以上
入らないように耐える。

おびん

かは

あーちがう
足はこう

ズ
ブ

ふむ
ちやんと
入っているな

必死にこらえていた
足も後ろに回され
残りのデイルドも深くまで刺さり
完全に私の中に埋まってしまった。



や...やだ。

びろ
びろ

お
お
お

ご
まっ

がっ
が

がっ
が

い
い、



乳首には
ワイヤーを通す



はよ
はよ

ぶ
ぶ

ズキ

ズキ

ぶ
ぶ
ぶ

今回は試運転用で
セットするが
身体が耐えられる
と判断すれば
乳輪には別なピアスを
追加するからな

小さな乳首に
三つの穴が
開くことになる

ワイヤーが乳首に通され貫通された乳首は
少し動くだけでズキズキとした痛みが走る。
両乳首に開けられたワイヤーは
へその下まで通され、ひとまとめにされ
別なワイヤーが繋がられた。
ワイヤーはさらに下に伸びる。
そのままいけばクリに……。
まさかそんなわけ……ないよね……？

30分ほどかけて私は台にセットされ
すべての機械が動き出し懲罰が
開始された。

叩き込まれたと思うが
休息时间まで睡眠は禁止
寝た場合は次の休息时间まで
連続電撃懲罰
暴れた場合も
電撃があるからな

最低3か月は
そのままだからな
せいぜいがんばって
反省の態度を
示し続けるんだな

さ...さんかげつ
すっこのまま.....
やだ...
やだやだ...
やだやだやだやだやだ
やだやだやだ

ぐぐぐぐぐ
ぐぐぐぐぐ

ブルブル

ブル

しゅー

しゅー

ウーン

ウーン

ウーン

しゅー

ブル

がちゃ
がちゃ

ゴクン
ゴクン

私の長い長い懲罰生活が始まった。

ちゃんと反省
していますか？

常に意識して舌を出していなければならないが、
面談を行う場合はきちんと答えなければならないため、
舌の動きによる激痛に耐えながら必死で
コミュニケーションを取っている。

尋問官の取り調べや面談、医療スタッフによる意識のある状態での
問診など必要がある場合は口枷が外される。
外される間は舌に開けられているピアスにワイヤーが繋がられる。
限界まで舌を出させてからワイヤーと繋げること
で少し舌を動かすだけで乳首とクリトリスには激痛が走る。

なんて言ってるのか
わからないな…

反省の色
無しと



まっ...
まっ...
せだせだ

膣圧での意思表示は快樂に耐えなければならず、
声での意思表示は痛みに耐えなければならず、
人が当たり前に持つ意思表示を
常に制限された状態で行わなければならない。



期間延長
しますからね

また来るので
もっと反省して
くださいね

すべての行動が罰となるように設計されているため
懲罰生活が長い公有物は、
息をすることに、ロで会話し食べることができずに、
眠れることに奉仕をさせてもらえることに、
全てに感謝し身を捧げることが
できるよになると言われている。











あとがき

なかったことがあることにされ、あることがなかったことになる昨今。
それが小学生の女の子でも例外なく、やっていないことを自白させられる。
こちらの世界でもそんなので、あちらの世界でもそんなことはあるんだろうな
と思います。

かえりが辿る物語が正史だとすれば、花乃の物語はかえりが通ってもおかしくは
なかったIFとして描いています。
運が悪いこうなってしまう。
あるいはちょっとした判断ミスやボタンの掛け違い。
一つでも変わってれば花乃の運命は変わっていたかもしれません。
かわいそうですね。

ちなみに花乃は懲罰が終わった後はヒトイヌとして運用されることになります。
姉と友達もヒトイヌ(もしくはポニーガール)になります。
姉と友達は花乃の懲罰中にヒトイヌとして仕込まれるので、ヒトイヌとしては先輩
になります。
クズ男は財閥の三男でしたが、諸々が明るみになり結局家からは勘当されて無職に
なるそうです。

ちょっとハード目な内容でしたね…。
字が多いわりに絵が少ないのは申し訳ないです。
全部読んでくれた方はありがとうございます。
50ページくらいに凝縮できればよかったのですが
力量足りずこうなってしまいました。

見返すと未熟なところが多いので
次描く機会があればもっとわかりやすく
できるように頑張ります。

公有物少女3.5

発行日：2025年6月13日
著者：ゆきむら丸
発行：ゆきまる屋

X(Twitter)：@yukimuranomaru
pixivID：62727011

※この作品はフィクションです。実在の人物や団体などとは関係ありません。
※この作品は18歳未満の閲覧・購入は禁止です。
※この作品を無断で模写、転載、転売、webへのアップロードすることは禁止です。
他言語に翻訳して無断転載(違法アップロード)する場合はアップロードを
した時点で、その翻訳データをゆきまる屋が商用利用し利益の100%を得る
ことに同意するものとします。

